

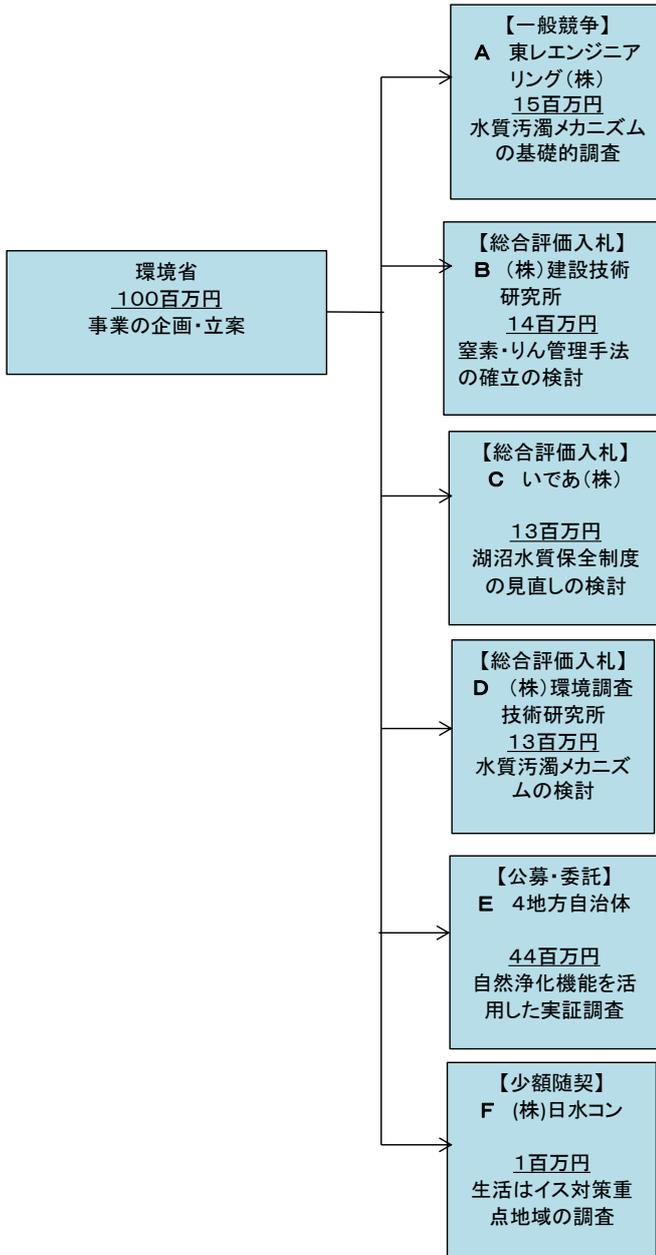
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	湖沼環境対策等推進費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	水環境課		水環境課長 北村 匡		
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	湖沼水質保全特別措置法 第37条		関係する計画、通知等	指定湖沼における水質保全対策については、国は、地方公共団体が湖沼水質保全計画に基づく事業を円滑に実施できるよう、助言その他必要な援助を行うように努めることとされている。				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	湖沼は、国民の健康で文化的な生活の確保に重要な役割を果たしており、国民がその恵沢を享受することができるように湖沼の水質の保全を図っていくため、湖沼の特性及び汚濁原因に応じた、効果的な水質保全対策の一層の推進を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	湖沼の水質汚濁メカニズム解明、健全な水循環に関する技術の検証及びこれらの調査検討を踏まえて、湖沼の水質保全対策の更なる高度化を図る。また、住民が望む湖沼像、新たな水質指標、現在の水質保全制度の効果の検討を行い、水質保全施策の再構築、水質保全制度の見直しを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	63	77	130	90	51	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	63	77	130	90	51	
	執行額	43	68	100				
	執行率(%)	68.3%	88.3%	76.9%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	湖沼の環境基準の達成状況(COD)		成果実績	湖沼	90	99	データ整理中	
			達成度	%	50.0	53.2		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	指定湖沼水質保全計画の立案		活動実績(当初見込み)	湖沼	3	0	5	—
					(0)	(5)	(2)	
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	本事業は、湖沼の水質保全を行うことを目的とした調査検討を行うものであり、単位当たりのコストを算出することは不可能				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	10	0	年次計画に伴う湖沼水質保全施策枠組み再構築事業の終了、湖沼流域水循環健全化事業の事業量減及び業務の効率的な推進を図ったことによる減。				
	環境保全調査等委託費	30	35					
	環境保全調査等地方公共団体委託費	50	16					
計	90	51						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・湖沼のCOD達成率は河川等に比べて低い ・湖沼の水質汚濁の原因は多岐に渡っており、多くの湖沼のデータ踏まえた、影響要因の解明や、より効果的な新たな取組の実施が必要 ・業務の落札率低下
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札4件(内、総合評価型3件) ・湖沼水質保全に係る検討業務、委託業務の実施
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	閉鎖的な水域である湖沼の環境基準の達成には、長期的な取組が必要。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・国が、代表的な湖沼を対象に水質汚濁メカニズムの一層の解明、健全な水循環に関する技術の検証を行うことにより得られた知見を広く我が国の湖沼の一層の水質保全施策に活用する必要がある。 ・成果目標(環境基準)の達成には、長期的な取組が必要であるが、これまでの事業により得られた知見で、湖沼の水質改善では自然浄化機能を活用することが効果的であると考えられ、全国の様々な効果的な湖沼の水環境改善対策の知見をモデル事業により検証し、我が国の湖沼環境保全施策を促進していくことが必要。 ・引き続き競争性の高い調達に努めるとともに、予算の効率的、効果的な執行を図る。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	湖沼水質保全施策枠組み再構築事業については、年次計画の終了に伴い平成24年度で廃止。 湖沼流域水循環健全化事業については、事業の重点化を図ることで、概算要求額の縮減に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	年次計画に伴う湖沼水質保全施策枠組み再構築事業の終了、湖沼流域水循環健全化事業の事業量減及び業務の効率的な推進を図り、必要な予算要求額としたもの。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	067

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と用途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 東レエンジニアリング(株)			E. 北海道七飯町 秋田県 鳥取県 島根県		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	分析費等	6	旅費、印刷製本費、外部委託等	湖沼自然浄化活用事業(北海道七飯町大沼)委託業務	13
人件費	調査・検討	4	旅費、印刷製本費、外部委託等	湖沼自然浄化活用事業(秋田県八郎湖)委託業務	10
その他	旅費、印刷製本費	1	旅費、印刷製本費、外部委託等	湖沼自然浄化活用事業(鳥取県中海)委託業務	6
諸経費	経費、消費税	4	旅費、印刷製本費、外部委託等	湖沼自然浄化活用事業(島根県宍道湖)委託業務	15
計		15	計		44
B. (株)建設技術研究所			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	調査検討	4	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		1
業務費	旅費、印刷製本費、委員会	2			
諸経費	一般管理費、消費税	8			
計		14	計		1
C. いであ(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	調査検討	8			
業務費	旅費、印刷製本費、委員会	2			
諸経費	一般管理費、消費税	2			
計		13	計		0
D. (株)環境調査技術研究所			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	調査・検討	4			
旅費	調査旅費	1			
その他	諸謝金、消耗品費、印刷製本費等	2			
諸経費	経費、消費税	6			
計		13	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東レエンジニアリング(株)	水質汚濁メカニズムの基礎的調査	15	3	非公表

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	窒素・りん管理手法の確立の検討	14	1	非公表

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	湖沼水質保全制度の効果の検証及び見直しの検討	13	2	非公表

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境調査技術研究所	水質汚濁メカニズムの解明、健全な水循環に関する検証及びこれらの検討	13	6	非公表

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道七飯町	自然浄化機能を活用した水環境保全対策のモデル事業	13	公募	非公表
2	秋田県	自然浄化機能を活用した水環境保全対策のモデル事業	10	公募	非公表
3	鳥取県	自然浄化機能を活用した水環境保全対策のモデル事業	6	公募	非公表
4	島根県	自然浄化機能を活用した水環境保全対策のモデル事業	15	公募	非公表

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	生活排水対策重点地域の調査	1	少額随契	—